Ⅱ 修士課程 教務関係事項

Academic Matters Master's Course

1. 履修案内 Registration Guide

医歯科学専攻(修士課程)の修了要件は、「2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、大学院の行う学位論文の審査及び最終試験に合格すること」となっています。但し、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるとされています。

◇ 医歯科学学位プログラム (コーディネーター 大橋 俊孝)

学部で学んだ専門領域と医歯科学の複眼的視点で社会の課題に対応できる人材を養成します。インテンシブ・コースワークとリサーチワークを設定しており、履修する授業科目は次の表のとおりです。授業予定は、別添の「医歯科学専攻(医歯科学学位プログラム)授業時間割」を参照して下さい。指導教授ごとに履修科目が決定しますので、履修届の手続きは必要ありません。空き時間には、配属先分野の指導教授による実習・演習等の研究指導がありますので、早めに各配属先分野に連絡をとって予定を確認して下さい。修了後は、「修士(医科学)」、「修士(歯科学)」、または「修士(学術)」の学位が授与されます。

授業科目一覧

◆インテンシブ・コースワーク 共通科目 大学院レベルの教養教育科目 [リーダーシップ論,キャリア支 2	运 杂到日	配当			単位		
 医歯科学概論 1 大学院レベルの教養教育科目 [リーダーシップ論,キャリア支 2 社会医歯科学 1 (神田 秀幸) 2 2 プログラム専門科目 生命倫理学 1 (深屋 剛) 1 (終程 幹人、岡村 裕彦) 2 2 人体構造学 1 (後程 幹人、岡村 裕彦) 2 2 人体構造学 1 (後程 幹人、岡村 裕彦) 2 2 人体性理学 1 (後程 幹人、岡村 裕彦) 2 2 人体性理学 1 (後程 幹人、岡村 裕彦) 2 2 生化学 1 (が田 博) 2 2 点程の素理学 1 (総野 神之) 2 2 生化学 1 (松野 神之) 2 2 生化学 1 (松野 神之) 2 2 生化学 1 (松野 神之) 2 2 生体材料学 1 (級野 神一) 2 2 上体材料学 1 (級野 神一) 2 2 上体材料学 1 (級田 中一) 2 2 上体材料学 1 (級田 中一) 2 2 上体材料学 1 (処田 中一) 2 2 上体解科学 1 (処田 中一) 2 2 上体解科学 1 (処田 中一) 2 2 上体解科学表 1 (銀四 中一) 2 2 上本科目を履修する。(指導教授) 医4 上生 指手を履修する。(指導教授) 医4 上生 指手を履修する。(指導教授) 5 4 上生 指導教授・養養 1 2 指導教授・精験 2 2 上本 計事教授・養験 1・2 指導教授・精験 2 2 上本 計事教授・養験 2 1 上生 指導教授・競験 1・2 指導教授・競験 1・2 指導教授・競験 1・2 指導教授・競験 1・2 指導教授・競別、中長、藤原、芝下、春松、本田 2 2 上海教授・養育 1・2 指導教授・荒木、座間味、前田 2 2 上海教授・資育 1・2 指導教授・荒木、座間味、前田 2 2 上海教授・資育 1・2 指導教授・養育、不原、原由、経済、経済、経済、経済、経済、経済、(原合・有床養養補綴学) 2 2 上陸橋等学演習 1・2 指導教授・養育、石浦、高木、付居、[脳神経外科学] 2 2 日陸橋能再建学演習 1・2 指導教授・安藤、大塚 (四、平木、細野、増山、松川、光延、 2 1 上陸橋等資資 1・2 指導教授・安藤、大塚 (四、平木、細野、増山、松川、光延、 2 1 上陸橋等資資 1・2 指導教授・安藤、大塚 (四、平木、細野・増山、松川、光延、 2 1 上陸橋等資資 1・2 指導教授・安藤、大塚 (四、平木、細野・増山、松川、光延、 2 1 上陸橋等資資 1・2 指導教授・安藤、大塚 (四、平木、大原、同台・有床養養補綴学) 2 2 日陸橋等資資 1・2 指導教授・担用、両元・経木、大原、同台・有床養養補綴学) 2 2 上陸橋等資資 1・2 指導教授・上面、八年田、八年野、「子が街科学」、柳、山本 2 2 1 上 計事教授・提用、同元・経末、「中原・大原、同台・有床養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養	授業科目	年次	佣名(担ヨ教貝)	必修	選択	必修	選択
大学院レベルの教養教育科目 [リーグーシップ論、キャリア支 2	◆ インテンシブ・コー	ースワー	-ク				
「大橋 俊孝 1	共通科目						
プログラム専門科目 生命倫理学 1 (栗屋 剛) 1 人体構造学 1 (接宿 幹人、岡村 裕彦) 2 人体構造学 1 (技術 恵治) 2 生化学 1 (戊州 恵治) 2 生化学 1 (戊州 昭博) 2 精理病態学 1 (松川 昭博) 2 総合薬理学 1 (松川 昭博) 2 総合薬理学 1 (松川 昭博) 2 総合薬理学 1 (松川 昭博) 2 版床医歯科学概論 1 (豊岡 伸一) 2 版床医歯科学概論 1 (豊岡 伸一) 2 版体解剖学実習 1 (川口 綾乃) 1 人体解剖学実習 1 (川口 綾乃) 1 医科学実習 1 (川口 綾乃) 1 をサーデーワーク (学生の研究活動と受入指導教授による研究指導を単位化した実習科目) 2 医科学実習 1 2 修士 (歯科学) の学位取得を希望する医学系学生は、これらの 医4 歯科学実習 1 2 終土 (歯科学) の学位取得を希望する歯学系学生は、これらの 歯4 歯科学実習 1 2 料目を履修する。 (指導教授) 6 歯科学実習 1 1 修士 (歯科学) の学位取得を希望する歯学系学生は、これらの 歯4 歯科学実習 1 2 料目を履修する。 (指導教授) 6 生体 が研究関連発表を能動的に行う演習科目) 分子医科学演習 1・2 指導教授:大麻(万子)演習科目) 分子医科学演習 1・2 指導教授: 護務殿、小林、塚原、松下、森松、本田 第生医療学演習 1・2 指導教授: (循環器内科学]、尾崎、笠原、木股、阪口、寶田、皇岡、中尾、藤原 第四 中尾、藤原 1・2 指導教授: 犬塚(窓)、神田、頼藤 2 歴神経科学演習 1・2 指導教授: 犬塚(窓)、神田、頼藤 2 歴神経科学演習 1・2 指導教授: 大塚(窓)、神田、頼藤 2 歴神経科学演習 1・2 指導教授: 大塚(窓)、神田、頼藤 2 正族情報学演習 1・2 指導教授: 大塚(窓)、神田、頼藤 2 正族情報学演習 1・2 指導教授: 茂原、田川、成瀬 2 正族情報学演習 1・2 指導教授: 茂紹、西浦、高木、竹居、[脳神経外科学] 2 「西藤機構学演習 1・2 指導教授: 茂紹、同元、和田 2 「世際統善再生学演習 1・2 指導教授: 茂紹、同元、和田 2 「世際統善再生学演習 1・2 指導教授: 茂紹、同元、和田 2 「世際統善再生学演習 1・2 指導教授: 茂紹、同元、孫木、松本、[咬合・有床義備補綴学]、2 「西・治・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	医歯科学概論	1		2			
生命倫理学 1 (栗屋 剛) 1 (長宮 幹人、 同村 裕彦) 2 人体構造学 1 (接宮 幹人、 同村 裕彦) 2 大体構造学 1 (校瀬 恵治) 2 大佐中型学 1 (校瀬 恵治) 2 大塚上型学 1 (校川 昭博) 2 元 病理病態学 1 (松川 昭博) 2 元 神理病態学 1 (松川 昭博) 2 元 神理 2 元 神理 2 元 神理病態学 1 (伊木 卓也) 2 元 神理 2 元 神理 2 元 中元 2 元 2	社会医歯科学	1	(神田 秀幸)	2			
人体構造学	プログラム専門科目				•		
人体生理学	生命倫理学	1	(粟屋 剛)	1			
生化学 1 (竹居 孝二) 2 2 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	人体構造学	1	(淺沼 幹人,岡村 裕彦)	2			
病理病態学 1 (松川 昭博) 2 2 生体材料学 1 (松本 卓也) 2 2 上佐林科学 1 (州口 綾乃) 1 1 ◆ リサーチワーク (学生の研究活動と受入指導教授による研究指導を単位化した実習科目) 医科学実習 1 1 修士 (医科学) の学位取得を希望する医学系学生は、これらの 医4 居科学実習 1 2 「新日を履修する。(指導教授) 6 4 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	人体生理学	1	(成瀬 恵治)	2			
総合薬理学 1 (細野 祥之) 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	生化学	1	(竹居 孝二)	2			
生体材料学 1 (松本 卓也) 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2	病理病態学	1		2			
臨床医歯科学概論 1 (豊岡 伸一) 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	総合薬理学	1					
人体解剖学実習		1					
◆リサーチワーク(学生の研究活動と受入指導教授による研究指導を単位化した実習科目) 医科学実習 I 1 修士 (医科学) の学位取得を希望する医学系学生は、これらの 相目を履修する。 (指導教授) 医4 歯科学実習 I 1 修士 (歯科学) の学位取得を希望する歯学系学生は、これらの 相互 を履修する。 (指導教授) 庫4 歯科学実習 I 2 終士 (歯科学) の学位取得を希望する歯学系学生は、これらの 相互 を履修する。 (指導教授) 庫4 ◆リサーチワーク (学生が研究関連発表を能動的に行う演習科目) 日本 を開始を発演者を発動的に行う演習科目 2 少子医科学演習 1・2 指導教授: 大橋、[分子腫瘍学], 冨樫、森實、平沢、[細胞化学] 2 生体防御医学演習 1・2 指導教授: 鵜殿、小林、塚原、松下、森松、本田 描導教授: 「循環器内科学], 尾崎、笠原、木股、阪口、寶田、豊岡、中尾、藤原 2 細胞組織工学演習 1・2 指導教授: 大内、神谷、川口、成瀬 2 医療情報学演習 1・2 指導教授: 大塚(文), 神田、頼藤 2 脳神経科学演習 1・2 指導教授: 浅沼、石浦、高木、竹居、[脳神経外科学] 2 内臓機構学演習 1・2 指導教授: 後藤、大塚(集), 平木、細野、増山、松川、光延、宮石、森実、山元、和田 指導教授: 飯田、岡元、窪木、松本、[咬合・有床義歯補綴学], 宮脇、吉田、[歯科保存修復学] 2 口腔機能再建学演習 1・2 指導教授: 浅海、伊原木、大原、岡村、高柴、長塚 2 口腔機能再建学演習 1・2 指導教授: 浅海、伊原木、大原、岡村、高柴、長塚 2 口腔機能再建学演習 1・2 指導教授: 大海、伊原木、大原、岡村、高柴、長塚 2 口腔機能再建学演習 1・2 指導教授: 大海、伊原木、大原、同本・大原、同本・大原、同本・大原、同本・大原、同本・大原、同本・大原、同本・大原、同本・大原、同本・大原、同本・大原、同本・大		1					
医科学実習Ⅱ 1 修士 (医科学) の学位取得を希望する医学系学生は、これらの 医4 日本程度をする。(指導教授) 医4 日本程度をする。(指導教授) 医4 日本程度をする。(指導教授) 日本程度を対して、			The state of the s	1			
医科学実習Ⅱ 2 科目を履修する。(指導教授) 医4 歯科学実習Ⅱ 1 修士(歯科学)の学位取得を希望する歯学系学生は、これらの 相4 歯4 ★リサーチワーク(学生が研究関連発表を能動的に行う演習科目) 1・2 指導教授:大橋, [分子腫瘍学], 富樫,森實,平沢, [細胞化学] 2 生体防御医学演習 1・2 指導教授:機農,小林、塚原,松下、森松、本田 2 再生医療学演習 1・2 指導教授:機農,小林、塚原,松下、森松、本田 2 細胞組織工学演習 1・2 指導教授:大内,神谷,川口、成瀬 2 臨床治験学演習 1・2 指導教授:大塚(x),神田、頼藤 2 脳神経科学演習 1・2 指導教授:大塚(x),神田、頼藤 2 脂神経科学演習 1・2 指導教授:安藤,大塚(基),平木、細野、増山、松川、光延、宮石、森集、山元、和田 2 口腔機能再建学演習 1・2 指導教授:飯田、岡元、窪木、松本、[咬合・有床義歯補綴学],宮高、吉田、[歯科保存修復学] 2 口腔機康発育学演習 1・2 指導教授:浅海、伊原木、大原、岡村、高柴、長塚 2 口腔健康発育学演習 1・2 指導教授:上岡、久保田、沢、仲野、[予防歯科学],柳、山本 2 パーハ・ル・ブレゲ・アーション1 1・2 指導教授 1 パーハ・ル・ブレゲ・アーション2 1・2 指導教授 1		学生の研	究活動と受入指導教授による研究指導を単位化した実習科目)	I			1
1							
歯科学実習Ⅱ 2 科目を履修する。(指導教授)		2	村目を腹修する。 (指導教授)		_		
◆ リサーチワーク(学生が研究関連発表を能動的に行う演習科目) 分子医科学演習 1・2 指導教授:大橋,[分子腫瘍学],富樫,森實,平沢,[細胞化 学] 生体防御医学演習 1・2 指導教授:鵜殿,小林,塚原,松下,森松,本田 2 再生医療学演習 1・2 指導教授: [循環器内科学],尾崎,笠原,木股,阪口,寶田,豊岡,中尾,藤原 2 細胞組織工学演習 1・2 指導教授:大内,神谷,川口,成瀬 2 臨床治験学演習 1・2 指導教授: 荒木,座間味,前田 2 医療情報学演習 1・2 指導教授: 茂塚、文),神田,頼藤 2 脳神経科学演習 1・2 指導教授: 淺沼,石浦,髙木,竹居,[脳神経外科学] 2 病態機構学演習 1・2 指導教授: 凌藤, 下塚(基),平木,細野,増山,松川,光延,宮石,森実,山元,和田 1・2 指導教授: 飯田,岡元,窪木、松本,[咬合・有床義歯補綴学],宮脇,吉田,「歯科保存修復学] 1・2 指導教授: 浅海,伊原木,大原,岡村,高柴,長塚 2 口腔機能再建学演習 1・2 指導教授: 浅海,伊原木,大原,岡村,高柴,長塚 2 口腔療態学演習 1・2 指導教授: 浅海,伊原木,大原,岡村,高柴,長塚 2 口腔腰康発育学演習 1・2 指導教授: 上岡,久保田,沢,仲野,[予防歯科学],柳,山本 2 「『ローバ・ル・ブ・ビ・ゾラ・ジョン 1・2 指導教授 1・2 指統 1・2 指導教授 1・2 指導教授 1・2 指導教授 1・2 指導教授 1・2 指統 1・2 指導教授 1・2 指導教授 1・2 指導教授 1・2 指導教授 1・2 指統 1・2 指導教授 1・2 指導教授 1・2 指統 1・2 計議 1・2 指統 1・2 指統 1・2 指統 1・2 計議 1・2 指統 1・2 計議 1・2 指統 1・2 指統 1・2 計議 1・2 1・2 計議 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2		1					
分子医科学演習 1・2 指導教授:大橋, [分子腫瘍学], 冨樫, 森實, 平沢, [細胞化 学] 2 生体防御医学演習 1・2 指導教授:鵜殿, 小林, 塚原, 松下, 森松, 本田 2 再生医療学演習 1・2 指導教授: [循環器内科学], 尾崎, 笠原, 木股, 阪口, 寶田, 豊岡, 中尾, 藤原 2 細胞組織工学演習 1・2 指導教授: 大内, 神谷, 川口, 成瀬 2 臨床治験学演習 1・2 指導教授: 荒木, 座間味, 前田 2 医療情報学演習 1・2 指導教授: 浅沼, 石浦, 髙木, 竹居, [脳神経外科学] 2 病態機構学演習 1・2 指導教授: 後沼, 石浦, 髙木, 竹居, [脳神経外科学] 2 口腔機能再建学演習 1・2 指導教授: 飯田, 岡元, 窪木, 松本, [咬合・有床義歯補綴学], 宮石, 森実, 山元, 和田 2 口腔機能再建学演習 1・2 指導教授: 飯田, 岡元, 窪木, 松本, [咬合・有床義歯補綴学], 宮脇, 吉田, [歯科保存修復学] 2 口腔健康発育学演習 1・2 指導教授: 浅海, 伊原木, 大原, 岡村, 高柴, 長塚 2 口腔健康発育学演習 1・2 指導教授: 上岡, 久保田, 沢, 仲野, [予防歯科学], 柳, 山本 2 が ローバル ア ル ア ル ア ル ア ル ア ル ア ル ア ル ア ル ア ル ア	歯科学実習Ⅱ				歯 4		
第7丁医科子傾音 1・2 学] 2 生体防御医学演習 1・2 指導教授: 鵜殿, 小林, 塚原, 松下, 森松, 本田 2 再生医療学演習 1・2 指導教授: [循環器内科学], 尾崎, 笠原, 木股, 阪口, 寶田, 豊岡, 中尾, 藤原 2 細胞組織工学演習 1・2 指導教授: 大内, 神谷, 川口, 成瀬 2 医療情報学演習 1・2 指導教授: 大塚 (文), 神田, 頼藤 2 脳神経科学演習 1・2 指導教授: 凌沼, 石浦, 髙木, 竹居, [脳神経外科学] 2 病態機構学演習 1・2 指導教授: 安藤, 大塚 (基), 平木, 細野, 増山, 松川, 光延, 宮石, 森実, 山元, 和田 2 口腔機能再建学演習 1・2 指導教授: 飯田, 岡元, 窪木, 松本, [咬合・有床義歯補綴学], 宮脇, 吉田, [歯科保存修復学] 2 口腔機能学演習 1・2 指導教授: 浅海, 伊原木, 大原, 岡村, 高柴, 長塚 2 口腔健康発育学演習 1・2 指導教授: 上岡, 久保田, 沢, 仲野, [予防歯科学], 柳, 山本 2 が ローハ・ル・ブルゼンテーション 1 1・2 指導教授 1 が ローハ・ル・ブルゼンデーション 2 1・2 指導教授 1 が ローハ・ル・ブルゼンデーション 2 1・2 指導教授 1	◆ リサーチワーク (=	学生が研					
再生医療学演習 1・2 指導教授: [循環器内科学] , 尾崎, 笠原, 木股, 阪口, 寳田, 豊岡, 中尾, 藤原 2 細胞組織工学演習 1・2 指導教授: 大内, 神谷, 川口, 成瀬 2 臨床治験学演習 1・2 指導教授: 荒木, 座間味, 前田 2 医療情報学演習 1・2 指導教授: 大塚 (文) , 神田, 頼藤 2 脳神経科学演習 1・2 指導教授: 淺沼, 石浦, 髙木, 竹居, [脳神経外科学] 2 病態機構学演習 1・2 指導教授: 安藤, 大塚 (基) , 平木, 細野, 増山, 松川, 光延, 宮石, 森実, 山元, 和田 2 口腔機能再建学演習 1・2 指導教授: 飯田, 岡元, 窪木, 松本, [咬合・有床義歯補綴学], 宮脇, 吉田, [歯科保存修復学] 2 口腔機康発育学演習 1・2 指導教授: 浅海, 伊原木, 大原, 岡村, 高柴, 長塚 2 口腔健康発育学演習 1・2 指導教授: 上岡, 久保田, 沢, 仲野, [予防歯科学], 柳, 山本 2 パローハ・ル・プ・レゼ・ソテーション2 1・2 指導教授 1 パローハ・ル・プ・レゼ・ソテーション2 1・2 指導教授 1	分子医科学演習	1 • 2	学]			2	
# 生 医 原子 俱 音	生体防御医学演習	1 • 2				2	
臨床治験学演習 1・2 指導教授:荒木,座間味,前田 2 医療情報学演習 1・2 指導教授:大塚(文),神田,頼藤 2 脳神経科学演習 1・2 指導教授:淺沼,石浦,髙木,竹居,[脳神経外科学] 2 病態機構学演習 1・2 指導教授:安藤,大塚(基),平木,細野,増山,松川,光延,宮石,森実,山元,和田 2 口腔機能再建学演習 1・2 指導教授:飯田,岡元,窪木,松本,[咬合・有床義歯補綴学],宮脇,吉田,[歯科保存修復学] 2 口腔病態学演習 1・2 指導教授:浅海,伊原木,大原,岡村,高柴,長塚 2 口腔健康発育学演習 1・2 指導教授:上岡,久保田,沢,仲野,[予防歯科学],柳,山本 2 が ローバル・プレゼンテーション1 1・2 指導教授 1 が ローバル・プレゼンテーション2 1・2 指導教授 1	再生医療学演習	1 • 2				2	
医療情報学演習 1・2 指導教授:大塚(文),神田,頼藤 2 脳神経科学演習 1・2 指導教授:淺沼,石浦,髙木,竹居,[脳神経外科学] 2 病態機構学演習 1・2 指導教授:安藤,大塚(張),平木,細野,増山,松川,光延,宮石,森実,山元,和田 2 口腔機能再建学演習 1・2 指導教授:飯田,岡元,窪木,松本,[咬合・有床義歯補綴学],宮脇,吉田,[歯科保存修復学] 2 口腔病態学演習 1・2 指導教授:浅海,伊原木,大原,岡村,高柴,長塚 2 口腔健康発育学演習 1・2 指導教授:上岡,久保田,沢,仲野,[予防歯科学],柳,山本 2 が ローバル・プルゼンテージョン 1 1・2 指導教授 1 が ローバル・プルゼンテージョン 2 1・2 指導教授 1	細胞組織工学演習	1 • 2	指導教授:大内,神谷,川口,成瀬			2	
脳神経科学演習 1・2 指導教授:淺沼,石浦,髙木,竹居,[脳神経外科学] 2 病態機構学演習 1・2 指導教授:安藤,大塚(基),平木,細野,増山,松川,光延,宮石,森実,山元,和田 2 口腔機能再建学演習 1・2 指導教授:飯田,岡元,窪木,松本,[咬合・有床義歯補綴学],宮脇,吉田,[歯科保存修復学] 2 口腔病態学演習 1・2 指導教授:浅海,伊原木,大原,岡村,高柴,長塚 2 口腔健康発育学演習 1・2 指導教授:上岡,久保田,沢,仲野,[予防歯科学],柳,山本 2 パローバル・プルゼンデーション 1 1・2 指導教授 1 パローバル・プルゼンデーション 2 1・2 指導教授 1	臨床治験学演習	1 • 2	指導教授:荒木,座間味,前田			2	
病態機構学演習 1・2 指導教授:安藤,大塚(基),平木,細野,増山,松川,光延,宮石,森実,山元,和田 2 口腔機能再建学演習 1・2 指導教授:飯田,岡元,窪木,松本,[咬合・有床義歯補綴学],宮脇,吉田,[歯科保存修復学] 2 口腔病態学演習 1・2 指導教授:浅海,伊原木,大原,岡村,高柴,長塚 2 口腔健康発育学演習 1・2 指導教授:上岡,久保田,沢,仲野,[予防歯科学],柳,山本 2 が ローバル・プレゼンテーション1 1・2 指導教授 1・2 指導 1・2 指導 1・2 指導 1・2 指導教授 1・2 指導教養 1・2 指導教授 1・2 指導教授 1・2 指導教養 1	医療情報学演習	1 • 2	指導教授:大塚(文),神田,頼藤			2	
1・2 宮石,森実,山元,和田 2 1・2 宮石,森実,山元,和田 2 1・2 指導教授:飯田,岡元,窪木,松本,[咬合・有床義歯補綴学], 宮脇,吉田,[歯科保存修復学] 1・2 指導教授:浅海,伊原木,大原,岡村,高柴,長塚 2 口腔健康発育学演習 1・2 指導教授:上岡,久保田,沢,仲野,[予防歯科学],柳,山本 2 1 1・2 1 1・2 1 1・2 1 1・2 1 1・2 1 1・2 1 1・2 1 1・2 1 1・2 1 1・2 1 1・2 1 1・2 1 1・2 1 1・2 1 1・2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	脳神経科学演習	1 • 2	指導教授:淺沼,石浦,髙木,竹居, [脳神経外科学]			2	
口腔機能再建学演習 1・2 指導教授:飯田,岡元,窪木,松本,[咬合・有床義歯補綴学], 宮脇,吉田,[歯科保存修復学] 2 口腔病態学演習 1・2 指導教授:浅海,伊原木,大原,岡村,高柴,長塚 2 口腔健康発育学演習 1・2 指導教授:上岡,久保田,沢,仲野,[予防歯科学],柳,山本 2 パローバル・プレゼンテーション 1 1・2 指導教授 1 パローバル・プレゼンテーション 2 1・2 指導教授 1 パローバル・プレゼンテーション 2 1・2 指導教授 1	病態機構学演習	1 • 2	宮石,森実,山元,和田			2	
□腔健康発育学演習 1・2 指導教授:上岡,久保田,沢,仲野, [予防歯科学],柳,山本 2 が □ーバル・プレゼンデーション 1 1・2 指導教授 1 1 1・2 指導教授 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	口腔機能再建学演習	1 • 2	指導教授:飯田,岡元,窪木,松本,[咬合・有床義歯補綴学],			2	
グローバル・プレゼンテーション 1 1・2 指導教授 1 グローバル・プレゼンテーション 2 1・2 指導教授 1	口腔病態学演習	1 • 2	指導教授:浅海,伊原木,大原,岡村,高柴,長塚			2	
グローバル・プレゼンテーション 2 1・2 指導教授 1	口腔健康発育学演習	1 • 2	指導教授:上岡,久保田,沢,仲野,[予防歯科学],柳,山本			2	
	ク゛ローハ゛ル・フ゜レセ゛ンテーション 1	1 • 2	指導教授				1
修得すべき単位数 20 8 2	ク゛ローハ゛ル • フ゜レセ゛ンテーション 2	1 • 2	指導教授				1
	修得すべき単位数			20	8	2	

1. Registration Guide

In order to complete a Master's Degree Program at the Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, a student must have studied at the Graduate School for at least two years, earned 30 credits or more, carried out his/her own research work with supervision, and passed a dissertation review and a final examination. For those who have made outstanding academic research achievements, however, an enrollment of one year or longer will be considered to be sufficient.

- Medical and Dental Sciences Degree Program (Coordinator: Prof. Oohashi Toshitaka)

This program is designed to develop professionals capable of addressing issues with their knowledge and skills in both areas of expertise studied in their undergraduate education and this program. The curriculum is composed of intensive coursework and research work. Table below lists the courses in this program. For class schedules, please refer to the *Timetable of Classes for the Master's Course (Medical and Dental Sciences Degree Program)* in the Appendix. You will carry out your research work when classes are not scheduled. Your supervising faculties will advise you on your research plan. Please contact the faculties in your field of study in advance to discuss your research schedule and plan. Course registrations are not necessary since the courses depend on your field of study. Upon completion, a degree of *Master of Medical Science, Master of Dental Science*, or *Master of Philosophy* shall be granted.

Course List

Course	Assigned	Note		Cred	lits	
Course	AY	*Names of teaching faculty members are provided in brackets.	R	equired		Elective
♦ Intensive Coursewor	·k					
Common subjects						
Introduction to Medical and Dental Sciences	1	Postgraduate-level liberal arts course. [Include Basic theory of Leadership and Special lectures for career development support] (T. Oohashi)	2			
Social Medicine and Dentistry	1	(H. Kanda)	2			
Program Specialized Co	ourses					
Medical Bioethics	1	(T. Awaya)	1			
Human Anatomy	1	(M. Asanuma, H. Okamura)	2			
Human Physiology	1	(K. Naruse)	2			
Biochemistry	1	(K. Takei)	2			
Pathology	1	(A. Matsukawa)	2			
Pharmacology	1	(Y. Hosono)	2			
Biomaterials	1	(T. Matsumoto)	2			
Introduction to Clinical Medicine and Dentistry	1	(S. Toyooka)	2			
Human Gross Anatomy	1	(A.Kawaguchi)	1			
◆Research Work (Cred	its are a	awarded for students' research activities conducted under the supervi	sion of	the pro	ofesso	ors.)
Research in Medical Sciences I	1	All medical students hoping to earn a master's degree in Medical Sciences		Medical 4		
Research in Medical Sciences II	2	must be enrolled in these courses. (Your supervising professor)		Medical 4		
Research in Dental Sciences I	1			Dental 4		
Research in Dental Sciences II	2	All dental students hoping to earn a master's degree in Dental Sciences must be enrolled in these courses. (Your supervising professor)				
				Dental 4		
	lents ac	tively publish and/or present their research work in these courses)		ı		
Research Presentation in Molecular Medicine	1 & 2	Supervising professors: T. Oohashi, [Molecular Oncology], Y. Togashi, Y. Morizane, A. Hirosawa, [Cell Chemistry]			2	
Research Presentation in Preventive Medicine	1 & 2	Supervising professors: H. Udono, K. Kobayashi, H. Tsukahara, O. Matsushita, H. Morimatsu, T. Honda			2	
Research Presentation in Regenerative Medicine	1 & 2	Supervising professors: [Cardiovascular Medicine], T. Ozaki, S. Kasahara, Y. Kimata, M. Sakaguchi, T. Takarada, S. Toyooka, A. Nakao, T. Fujiwara			2	
Research Presentation in Cell and Tissue Engineering	1 & 2	Supervising professors: H. Ohuchi, A. Kamiya, A. kawaguchi, K. Naruse			2	
Research Presentation in Clinical Trial	1 & 2	Supervising professors: M. Araki, Y. Zamami, Y. Maeda			2	
Research Presentation in Clinical Informatics	1 & 2	Supervising professors: F. Ohtsuka, H. Kanda, T. Yorifuji			2	
Research Presentation in Neuroscience	1 & 2	Supervising professors: M. Asanuma, H. Ishiura, M. Takaki, K. Takei, [Neurological Surgery]			2	
Research Presentation in Pathophysiology	1 & 2	Supervising professors: M. Ando, M. Ohtsuka, T. Hiraki, Y. Hosono, H. Masuyama, A. Matsukawa, F. Mitsunobu, S. Miyaishi, S. Morizane, H. Yamamoto, J. Wada			2	
Research Presentation in Oral Functional Reconstruction	1 & 2	Supervising professors: S. Iida, K. Okamoto, T. Kuboki, T. Matsumoto, [Occlusal and Oral Functional Rehabilitation], T. Miyawaki, R. Yoshida, [Operative Dentistry]			2	
Research Presentation in Oral Pathology	1 & 2	Supervising professors: J. Asaumi, S. Ibaragi, N. Ohara, H. Okamura, S. Takashiba, H. Nagatsuka			2	
Research Presentation in Oral Health and Development	1 & 2	Supervising professors: H. Kamioka, S. Kubota, Y. Sawa, M. Nakano, [Preventive Dentistry], Y. Yanagi, T. Yamamoto			2	
Presentation at International Conference 1	1 & 2	(Your supervising professor)				1
						1
Presentation at International Conference 2	1 & 2	(Your supervising professor)	<u> </u>			1
		Required Credits	20	8	2	

◇ 公衆衛生学学位プログラム (MPHプログラム) (コーディネーター 頼藤 貴志)

少子高齢社会の到来を踏まえて、地域の医療機関、地方自治体等と連携し、公衆衛生学のリサーチマインドを有する保健・医療・福祉従事者、行政職、企業研究者等を養成することを目的としています。欧米の代表的な大学では公衆衛生大学院が設けられていますが、本プログラムは公衆衛生大学院の国際標準である疫学、生物統計学、環境保健学、社会科学・行動科学方法論、及び保健医療管理学の必須5分野を含む21科目を設定しており、修了後は「修士(公衆衛生学)」(Master of Public Health)、または「修士(学術)」の学位が授与されます。修了者は、上記のような知のプロフェッショナルとして地域に貢献しています。

授業科目一覧

授業科目	配当	備考(担当教員)	単位	立数
1又未行日	年次	(担当教員)	必修	選択
♦ コースワーク				
共通科目	T			,
医歯科学概論	1	大学院レベルの教養教育科目 [リーダーシップ論, キャリア支援特別講義を含む] (大橋 俊孝)		2
社会医歯科学	1	教養教育科目としての社会医学(神田 秀幸)		2
プログラム専門科目				
[概論]				
公衆衛生学概論	1 • 2	公衆衛生学全般の教育科目 (神田 秀幸)		2
研究方法概論	1 • 2	研究方法論の教育科目(頼藤 貴志)	2	
[疫学]	1	()		
疫学基礎論	1 • 2	(頼藤 貴志)	2	
疫学応用論	1 • 2	(頼藤 貴志)	2	
[生物統計学]	1			
生物統計学基礎論	1 • 2	(高尾 総司)	2	
疫学統計分析・演習 I	1 • 2	(高尾 総司)	2	
疫学統計分析・演習Ⅱ	1 • 2	(高尾 総司)		2
[環境保健学]				
環境・産業保健論	1 • 2	(高尾 総司)	2	
[社会科学·行動科学方法論]				
社会疫学特論	1 • 2	(高尾 総司)		2
[保健医療管理学]				
医療政策論	1 • 2	(頼藤 貴志,浜田 淳)	2	
[選択科目]				
論文の批判的吟味 I	1 • 2	(頼藤 貴志)		2
論文の批判的吟味Ⅱ	1 • 2	(頼藤 貴志)		2
予防医学	1 • 2	(神田 秀幸, 久松 隆史)		2
食中毒調査方法論	1 • 2	(頼藤 貴志)		2
質的研究方法論	1 • 2	(片岡 仁美)		2
◆ リサーチワーク	I		1	1
	研究発表・登	受入指導教授による研究指導を単位化した演習科目)		
公衆衛生学研究演習 I	1	(頼藤 貴志,神田 秀幸)	4	
公衆衛生学研究演習Ⅱ	2	(頼藤 貴志,神田 秀幸)	4	
ク゛ローハ゛ル • フ゜ レセ゛ ンテーション 1	1 • 2	(頼藤 貴志,神田 秀幸)		1
ク゛ローハ゛ル • フ゜レセ゛ンテーション 2	1 • 2	(頼藤 貴志,神田 秀幸)		1
修得すべき単位数	l		22	8

- Master of Public Health Degree Program (MPH Degree Program) (Coordinator Prof. Takashi Yorifuji)

To address various medical issues, our modern society needs professionals with a wide range of knowledge and experience about public health as well as epidemiology. Further, a global perspective is required for the professionals to lead the society in today's inter-connected and inter-dependent world.

Master of Public Health (MPH) Degree program is designed to develop research-minded medical professionals capable of addressing public health issues, in corporation with local medical institutions and municipal organizations. In accordance with the international standards of School of Public Health, we provide 21 courses including the following five essential areas; (a) epidemiology, (b) biostatistics, (c) environmental and occupational health, (d) social and behavioral sciences, and (e) healthcare management.

Upon completion, an academic degree of Master of Public Health shall be granted. Our MPH graduates are actively working as community health-care professionals, welfare workers, and public health practitioners.

Course List

Course	Course Assigned Note		Cre	edits
Course	AY	*Names of teaching faculty staff are provided in brackets.	Required	Elective
◆ Coursework			<u>.</u>	
Common subjects				
Introduction to Medical and Dental Sciences	1	Postgraduate-level liberal arts course [Include Basic theory of Leadership and Special lectures for career development support] (T. Oohashi)		2
Social Medicine and Dentistry	1	Social medicine as a subject of liberal art education (H. Kanda)		2
Program Specialized Courses				
[Introduction]				
Introduction to Public Health	1 & 2	Education course of public health in general (H. Kanda)		2
Introduction to Research Methods	1 & 2	Education course of research methods (T. Yorifuji)	2	<u> </u>
[Epidemiology]	1	<u></u>	1	
Basic Epidemiology	1 & 2	(T. Yorifuji)	2	
Applied Epidemiology	1 & 2	(T. Yorifuji)	2	İ
[Biostatistics]				
Basic Biostatistics	1 & 2	(S. Takao)	2	I
Epidemiologic and Statistical Analysis Practice I	1 & 2	(S. Takao)	2	İ
Epidemiologic and Statistical Analysis Practice II	1 & 2	(S. Takao)		2
[Environmental and Occupational Health]				
Environmental and Occupational Health	1 & 2	(S. Takao)	2	İ
[Social and Behavioral Sciences]	_			
Social Epidemiology	1 & 2	(S. Takao)	2	ı
[Healthcare Management]				
Medical Policy	1 & 2	(T. Yorifuji and J. Hamada)	2	I
[Elective Subjects]			,	
Critical Appraisal of Scientific Papers I	1 & 2	(T. Yorifuji)		2
Critical Appraisal of Scientific Papers II	1 & 2	(T. Yorifuji)		2
Preventive Medicine	1 & 2	(H. Kanda and T.Hisamatsu)		2
Food Poisoning Research Methods	1 & 2	(T. Yorifuji)		2
Qualitative Research Methods	1 & 2	(H. Kataoka)		2
◆ Research Work (Credits are awarded for	student	research activities conducted under the super-	vision of	the
professors accepting them at their laborator	ries in th	ese courses.)		
Public Health Practice I	1	(T. Yorifuji and H. Kanda)	4	<u></u>
Public Health Practice II	2	(T. Yorifuji and H. Kanda)	4	 _
Presentation at International Conference 1	1 & 2	(T. Yorifuji and H. Kanda)		1
Presentation at International Conference 2	1 & 2	(T. Yorifuji and H. Kanda)		1
Required credits			22	8

2. 成績評価基準等 Grading Criteria

◇ 成績確認について Confirmation of Grades

各自がインターネットにより成績の確認をすることになります。確認の方法は、「学務システムの手引き」https://www.okayama-u.ac.jp/up_load_files/jyoho-pdf/gsystem/gakumutebiki.pdf を参照してください。

また、上記の確認方法で単位修得状況以外に健康診断の結果や就職情報も閲覧できるようになっていますので、利用してください。

Go to the online academic affairs system (https://kyomu.adm.okayama-u.ac.jp/Portal/) to check your grades. Refer to "Academic Affairs system Manual" (https://www.okayama-u.ac.jp/up_load_files/jyoho-pdf/gsystem/gakumutebiki_e.pdf) for details on how to use the system. Moreover, you can check the results of annual medical checkup or career-related information on the website as well.

◇ 大学院医歯薬学総合研究科における成績評価方法について

The Grade Evaluation Method

(1) 成績評価 Grading System

成績評価は、100点を満点とし、60点以上を「合格」、59点以下を「不合格」とする。評価の評語は、以下のとおりとする。ただし、授業科目によっては、その評価を「修了」又は「不可」とすることができる。

With the maximum possible score of 100 points, 60 points or more are deemed "Pass" and 59 and below "Failure". Marks are shown below, however, depending on class subject, grades might be described as "Complete" or "Failure". (At least 60 points are required)

評語 Grade	評点 Score	基準 Criteria
A+	90~100	到達目標を十分に達成し,極めて優秀な成果を収めている。 Fully achieved the goals with extremely excellent results.
A	80~89	到達目標を達成し,優秀な成果を収めている。 Achieved the goals with excellent results.
В	70~79	到達目標を達成し,良好な成果を収めている。 Achieved the goals with good results.
С	60~69 点	到達目標を概ね達成している。 Almost achieved the goals.
F	0~59	到達目標を達成していない。 Failed to achieve the goals.

(2) 成績評価の基準 Grading Criteria

1. 本専攻の授業科目については、形成的評価*1または総括的評価*2を行なう。いずれの評価方法を 用いる場合でも、授業参加が三分の二に満たない者は評価の対象としない。

Formative evaluation¹⁾ and/or summative evaluation²⁾ will be conducted for each subject in this Master's course. Whichever the evaluation is used, the student whose class attendance is less than two-thirds are not subject to evaluation.

2. 学生の研究活動と研究指導を単位化した授業科目(実習や演習など)については、形成的評価*2を行なう。実習では、学生が実験や調査などの研究活動とその記録を行い、教員の指導を受ける。 演習では、学生が研究に関連する発表を行い、他の学生や教員と討議する。これらの活動への能動的な参加、研究の成果、研究室運営(検体や共同利用機器の管理等)への協力等を、受入指導教授が総合的に評価する。

Formative evaluation*2 will be conducted for courses in which research activities by students and supervision given to them are eligible for credit (i.e., *Research* and *Research Presentations*). In the *Research* courses, students carry out experiments and surveys, and keep records. Faculty members supervise the students. In the *Research Presentations* courses, students give presentations on their

research activities and discuss them with other students and faculty members. The supervising professor accepting the student at his/her laboratory will comprehensively evaluate student performance according to criteria such as active participation in these activities, research outcomes and contribution to laboratory operation (e.g., management of specimens and equipment for shared use).

これらの評価に基づき、60点以上を単位認定基準とする。

Based on these evaluations, more than 60 percent shall be credit criteria.

[注釈 Remarks]

※1 形成的評価:一連の授業を進めていく中で、学習目標の達成度を調べて学習活動の修正を勧める ための評価をいう。上述の評価項目の他、授業ごとの質疑応答と学生へのフィードバックなどが これに該当する。

Formative evaluation is a range of evaluation procedures conducted by lecturers during the learning process to modify teaching and learning activities to improve student attainment. In addition to the above-mentioned evaluation items, question-and-answer for each lesson and feedback to students are commonly used.

※2 総括的評価:一連の授業が終了した後に、全体を通して学習目標の達成度を評価する評価方法をいう。試験などがこれに該当する。

Summative evaluation refers to the evaluation of participants where the focus is on the outcome of an education program. Written examinations are commonly used.

◇ 「成績評価等に対する問合せ」の対応について Inquiries Regarding Grade Evaluation and Others

1) 学生は、成績評価等に対する疑問などがある場合には、授業担当教員又は事務担当に対して成績評価の方法及び内容等について問い合わせることができる。

Students may inquire about grading methods and evaluation details to the instructors or the office in charge of academic affairs when there is any question about grading, etc.

- 2) 授業担当教員等から十分な回答が得られない場合には、学務委員会に申し出ることができる。 Students who fail to receive a proper response from the instructor in charge of the subject may make a request to the Academic Affairs Committee.
- 3) 学務委員会は,上記の申し出があった場合は,調整等を行うものとする。 The Academic Affairs Committee shall act to reconcile any of the above requests.

3. 研究計画と研究指導について Research Plan and Research Supervision

全ての学生(休学者,留学者を除く)は,研究計画書を年1回作成し大学院担当に提出してください。 All graduate students, excluding those who are taking a leave of absence or studying abroad, are supposed to submit their "Annual Plan and Report for Research" to the graduate school office once a year.

研究計画書(次ページ様式)のファイルを、毎年度5月に大学院担当から各教育研究分野に送付します。まず、学生は指導教員と年間の研究計画について討議し、研究計画欄までを記入してください。次に、指導教員が研究指導計画欄を記入してください。指導教授は、これらを熟読し、学生および指導教員に必要な指導を行ってください。以上が完了したら、大学院担当にご提出ください。

An Annual Plan and Report for Research file (following the template provided next page) will be sent to each department every May. Students shall discuss with their supervisor about the annual research plan and fill out their research plans. Their supervisor will then fill out the "Research Guidance Plan *For supervisors" field. The chief professor will thoroughly read through those and provide necessary guidance to the student and other supervisors. Students who have completed all of the above steps shall submit the "Annual Plan and Report" to the graduate school office.

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 修士課程医歯科学専攻 研究指導計画書

【 年 月 日作成】 フリガナ 学生番号 学生氏名 教育研究分野 入学年度 課程 修士 年次 年度 学科 (出身大学 学部 大学 学部 年 月 卒業) 研究題目 FD 参加 FD 参加 2022 または 2022 または 氏名 (職名) 氏名 (職名) 2023 年度 2023 年度 指導教員 有□ 無□ 有□ 無□ 有口 無口 有□ 無□ 研究計画(学会発表,論文作成等を含む): 学生が記入 研 究 指 導 計 画 研究指導計画:指導教員が記入

GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE, DENTISTRY AND PHARMACEUTICAL SCIENCES, OKAYAMA UNIVERSITY Annual Plan and Report for Research (Master's Course)

Date:

	Student ID			Kana Name				
	Department							
	Course	Mater's Course	Grade			Entrance Academic Year		
	ome University / partment / Course					(Graduatio	n date:)
Т	itle of Research							
		Name (Occupation)		Whether to Attend FD or not (2022 or 2023)	Name (O	ccupation)		Whether to Attend FD or not (2022 or 2023)
	Supervisor			Yes□ No□				Yes□ No□
				Yes□ No□				Yes□ No□
	Research Plan Desc	ription including presentati	ons in aca	demic conference	s, papers an	d so on) *for S	tudents	3
Resea								
arch su								
Research supervision								
on	Research Guidance	Plan *For Supervisors						

4. 学位論文について Thesis

学位論文提出についての、学位申請要領(提出時期及び申請書類等の詳細)はホームページに掲載します。

Refer to the website for the guidelines pertaining to thesis submission. (Submission schedule, or formats, etc.)

◇ 学位論文(修士論文)の評価基準 Completion Requirements for the Master's Degree

自ら推進した課題研究を論理的にまとめたものであり、多角的な評価に耐えうるものであること。The research paper must be summarized logically and it should be capable of multifaceted evaluation.

〈学位論文の要件〉 Requirements of Thesis

学位論文は、Thesis を原則とするが、査読制度のある欧文誌も可能である。

また、Thesis は単著とする。欧文誌は共著も可とするが、その場合は筆頭著者であることとする。 学位論文には、一般的にアブストラクト(要旨)、メソッド(方法)、結果、およびディスカッション(考察)が含まれる。

In principle, to apply for a degree dissertation, students must submit thesis. However, students can submit a peer-review in a distinguished journal in the English language as well.

Moreover, the thesis should be single-authored paper. In case of co-authored paper in a distinguished journal in the English language, the applicants must be the first author.

A thesis typically includes an abstract, methods, results, and discussion.

◇ 修了認定の基準 Requirements for the Master's Degree

- ・ 修士課程に2年以上在学し, 30単位以上を修得していること Those must have enrolled in the master's course for at least 2 years and have earned 30 credits or more.
- 研究指導を受けていること

Those must have been supervised in their research.

・ 学位論文(修士論文)の審査及び最終試験に合格していること Those must have passed the master's thesis review and final examination.

課程修了の基準は、上記の修了に係る要件を満たすものとする。

ただし,在学期間に関しては,「岡山大学大学院医歯薬学総合研究科医歯科学専攻早期修了に関する申合せ事項」により承認された者については,当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

To complete the course, the above requirements must be fulfilled. However, with regards to the duration of enrollment, more than one year of enrollment in the course is sufficient for those students who are admitted according to the "Agreement on the special course term of early completion at Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama University (Medical and Dental Science)."

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科医歯科学専攻早期修了に関する申合せ事項

Rules on the special course term of early completion at Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama University (Medical and Dental Science)

> 平成 1 8年 5 月 2 6 日大学院医歯薬学総合研究科医歯科学専攻会議承認令和 3 年 3 月 1 8 日改正 Adopted by the Master's Course Committee on February 10, 2006 Revised on March 18, 2021

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科規程第27条第1項に基づく岡山大学大学院医歯薬学総合研究科医歯科学 専攻早期修了に係る優れた研究業績,申請資格及び審査は,次のとおりとする。

Based on Article 27-1 of regulations of Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama University, degree applications and review should be processed as described below when "a student who has achieved an outstanding research performance will be adequate to apply for the special course term of early completion at Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama University (Medical and Dental Science) is fulfilled.

1 在学期間 Duration of Study

修業見込年数が1年又は1年半の者とする。

Course term of one year or one and half year is applicable.

2 「優れた研究業績を上げた者」として認められる者

"A student who has achieved an outstanding research performance"

査読制度のある雑誌に掲載された論文(掲載予定を含む)の筆頭又は共著者である等優れた業績を上げる見込みであることを指導教授が認める者で、引き続き本学大学院医歯薬学総合研究科博士課程に進学する者

Either the first or co-authored of published or expected to be published paper of peer-review in a distinguished journal in the English language and the supervisor recognizes the high value of achievement. Moreover, the student has to continue of education in Doctoral course at Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama University.

3 早期修了申請資格の審査 Review of the Eligibility for an Early Completion Degree Application

早期修了を希望する場合は、次の書類により学務委員会の議を経て専攻会議において申請資格の審査を受けなければならない。

When a student fulfilling the aforementioned requirements intends to apply for an early completion, he/she should submit the following documents and undergo review by the Academic Affairs Committee on his/her eligibility for the degree application.

- ① 研究計画及び研究概要 Research guidance plan and Research outline
- ② 単位修得状況確認表 Academic transcripts
- ③ 指導教授の推薦書 Letter of recommendation by the supervisor
- ④ その他(研究業績一覧等) Others (e.g. curriculum vitae, record of academic performance, research planning sheet)

なお、審査に合格した場合は、2年次配当科目(医科学実習II又は歯科学実習II4単位)を履修することができるものとする。

Furthermore, those students who pass the review of the eligibility can take subjects that are available in the second year. (*Research in Medical Sciences II* or *Research in Dental Sciences II*: 4 credits)

4 申請時期 Application Period

早期修了資格審査の申請時期は、岡山大学における学期及び学事暦等に関する申合せに規定する修了日の属する月により次の各月とする。

The period for degree applications for early completion are shown below.

修了日の属する月 Month in which the completion date belongs	申請期限 Application months
3月	8月末日
March	End of August
9月	1月末日
September	End of January

5 学位申請及び審査 Application and Defense

審査に合格した場合の学位申請は、医歯科学専攻学位申請要領による。

Applicants must follow the guidelines concerning thesis submission after passing the review of the eligibility.

附 則 Supplementary Provision

この申合せは、令和3年4月1日から適用する。

This agreement is effective from April 1, 2021.

以下は「岡山大学における学期及び学事暦等に関する申合せ」(令和4年2月17日改正)より抜粋 The following is an excerpt from the "Agreement on Academic Terms and Academic Calendar at Okayama University" Revised on February 17, 2022

学位記及び修了証書授与式について Commencement Ceremony

学位記及び修了証書授与式は9月25日及び3月25日に挙行するものとする。ただし、当該日が 定期休業日であるときは、その直前の定期休業日でない日とする。

The commencement ceremony will be held on September 25 and March 25. However, if that day falls on weekends or holidays, the ceremony shall be moved up to a weekday right before that day.

- 5. 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 修士課程における授業科目の履修方法等に関する取り扱いについて Rules on Class Registration < Japanese version only>
- 第1条 この取り扱いは、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科規程第15条第2項の規定に基づき、岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科修士課程(以下「修士課程」という。)における授業科目の履修方法等必要な事 項について定めるものとする。
- 第2条 修士課程に、次のとおり学位プログラムをおくものとする。
 - 一 医歯科学学位プログラム
 - 二 公衆衛生学 (MPH) 学位プログラム
- 2 修士課程の学生は、入学時に研究科長に学位プログラムの届け出を行ったのち、別表に定めるとおり履修しなければならない。
- 3 学位プログラムを届け出た学生は、他の学位プログラムの科目を修了要件外の単位として履修すること ができるものとする。
- 第3条 修士課程の学生は、届出後に学位プログラムの変更を希望する場合は、研究科長に変更願を提出しなければならない。なお、学位プログラムの変更の前後において同一の授業科目が履修要件となっている場合は、既修得単位の引き継ぎ及び出席回数の引き継ぎができるものとする。

(中略)

附則

- 1. この取り扱いは、令和5年4月1日から施行する。
- 2. 令和4年度以前の入学者については、改正後の取り扱いにかかわらず、なお従前の例による。

別表 修士課程学位プログラム

(1) 医歯科学学位プログラム(令和5年度以降入学者)

子子位ノログノム(节和3年度以降八子	· p /	単位数	
授業科目	业 修	選択必修	選択
医歯科学概論	2		
生命倫理学	1		
人体構造学	2		
人体生理学	2		
生化学	2		
病理病態学	2		
総合薬理学	2		
生体材料学	2		
社会医歯科学	2		
臨床医歯科学概論	2		
人体解剖学実習	1		
医科学実習 I		4	
医科学実習Ⅱ		4	
歯科学実習 I		4	
歯科学実習Ⅱ		4	
分子医科学演習		2	
生体防御医学演習		2	
再生医療学演習		2	
細胞組織工学演習		2	
臨床治験学演習		2	
医療情報学演習		2	
脳神経科学演習		2	
病態機構学演習		2	
口腔機能再建学演習		2	
口腔病態学演習		2	
口腔健康発育学演習		2	
グローバル・プレゼンテーション1			1
グローバル・プレゼンテーション2			1
修得すべき単位	2 0	1 0	

必修科目20単位を履修し、選択必修科目から3科目10単位以上を選択履修すること。ただし、修士(医科学)の学位を希望する者は医科学実習Ⅰ及び医科学実習Ⅱを、修士(歯科学)の学位を希望する者は歯科学実習Ⅰ及び歯科学実習Ⅱを履修すること。

(2) 公衆衛生学 (MPH) 学位プログラム (令和5年度以降入学者)

核 类 幻 口	単位	立 数
授業科目	必 修	選択
医歯科学概論		2
社会医歯科学		2
公衆衛生学概論		2
研究方法概論	2	
疫学基礎論	2	
疫学応用論	2	
生物統計学基礎論	2	
疫学統計分析・演習 I	2	
疫学統計分析・演習Ⅱ		2
環境・産業保健論	2	
社会疫学特論		2
医療政策論	2	
論文の批判的吟味 I		2
論文の批判的吟味Ⅱ		2
予防医学		2
食中毒調査方法論		2
質的研究方法論		2
公衆衛生学研究演習 I	4	
公衆衛生学研究演習Ⅱ	4	
グローバル・プレゼンテーション 1		1
グローバル・プレゼンテーション2		1
修得すべき単位	2 2	8

必修科目22単位を履修し、選択科目から8単位を選択履修すること。

6. 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科(修士課程)の専攻と学位に付記する専攻分野に関する取り扱いについて Rules on Master's Degree < Japanese version only>

岡山大学学位規則第24条及び岡山大学大学院医歯薬学総合研究科規程第29条の規定に関連して,修士の学位に付記する専攻分野については、次のとおり取り扱うものとする。

1.「修士課程の専攻」と「修士の学位に付記する専攻分野の名称」の関係は、次のとおりとする。

学位に付記する 専攻分野の名称				
専攻	(医科学)	(公衆衛生学)	(歯科学)	(学術)
医歯科学専攻	0	0	0	0

- 2.「修士の学位に付記する専攻分野の名称」と「研究内容」の関係は、次のとおりとする。
 - (1) (医科学) は、主として医科学の分野で行われた研究に付与する。
 - (2) (歯科学) は、主として歯科学の分野で行われた研究に付与する。
 - (3)(学術)は、主として医科学・歯科学の分野で行われた複合的・学際的な視点の研究に付与する。
- 3.「所属する教育研究分野」と「修士の学位に付記する専攻分野の名称」の関係は、次のとおりとする。

学位に付記する 専攻分野の名称 所属する 教育研究分野	(医科学)	(公衆衛生学)	(歯科学)	(学術)
医学系の教育研究分野に所属し, 医科学を中心と して医歯薬学に関する教育・研究指導を受けた者	0	0	_	0
歯学系の教育研究分野に所属し,歯科学を中心と して医歯薬学に関する教育・研究指導を受けた者	_	_	0	0

「※医学系は医学系会議構成員を、歯学系は歯学系会議構成員を表す。

4.「修士の学位に付記する専攻分野の名称」と「学長から付託された教授会」の関係は、次のとおりとする。

学位に付記する 専攻分野の名称	学長から付託された教授会
(医科学)(歯科学)(公衆衛生学)(学術)	教授会(医歯科学専攻会議)

5.「所属する教育研究分野」での研究内容と「修士の学位に付記する専攻分野の名称」の関係が上記3. の表によりがたい場合は、研究内容が判明した時点で学務委員会の審議をうけるものとする。承認後に4. の「修士の学位に付記する専攻分野の名称」に対応する「学長から付託された教授会」に学位申請ができるものとする。

附則

- 1. この取り扱いは、平成26年4月1日から施行する。
- 2. 平成25年度以前の入学者については、改正後の取り扱いにかかわらず、なお従前の例による。

7. 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科大学院学生による学会発表の単位認定に関する申合せ

平成29年11月30日 医歯科学専攻学務委員会決定 平成29年12月 5日 博士課程学務委員会決定

(趣旨)

第1条 この申合せは、医歯薬学総合研究科の大学院学生が、国際学会に参加し発表したことをもって、 本研究科の単位として認定する場合の取り扱いに関し必要な事項を定める。

(授業科目名等)

- 第2条 単位認定を行う場合の授業科目名及び必要な時間数等は、以下によるものとする。
- 1 授業科目名及び単位数は、次のとおりとする。

授業科目名	単位数	対象
グローバル・プレゼンテーション1	1 単位	国外開催の国際学会
グローバル・プレゼンテーション 2	1 単位	国内開催の国際学会

- 2 「グローバル・プレゼンテーション」は、学会発表の時間及び事前準備、事後報告等の時間を含め、 45時間の学修をもって1単位とすることを基準とする。
- 3 修了要件に含む単位としては2単位(グローバル・プレゼンテーション1又はグローバル・プレゼンテーション2のいずれか一方で2単位も可)を上限とするが、単位修得に上限は設定せず繰り返し修得(上限2単位を超える場合は要件外)を可とする。
- 4 「グローバル・プレゼンテーション」を修了要件単位に含める場合は、選択科目とする。 (対象とする国際学会)
- 第3条 単位認定の対象とする国際学会は、大学院学生を対象とした「岡山大学研究奨励金に関する内規」における「学長が別に定める学会等一覧表」によるものとし、会期の長さ、開催地及び主催者は考慮しない。なお、これ以外に、本研究科において適切と判断した国際学会を対象とする。

(対象とする発表等)

- 第4条 単位認定の対象とする発表等は、以下の基準に基づくものとし、英語での発表を原則とする。
- (1) 口頭発表及びポスター発表のいずれも対象とする。
- (2) 学生本人が発表した場合に限る。

(成績評価)

第5条 成績評価は「修了」とする。

(手続き)

第6条 単位認定は、学生からの申請に基づき、本研究科が定める手続きに従い、単位授与の可否を決 定するものとする。

なお、認定を希望する学生は、「グローバル・プレゼンテーション」単位認定申請書に学会等での 発表を確認できる証拠書類を添え、研究科長に提出するものとする。

また、結果の通知は成績証明書への記載をもって代える。

(その他)

第7条 この申合せによる単位認定は、平成29年4月1日以降に開催された国際学会を対象とする。 附 則

この申合せは、平成29年4月1日から適用する。

7. Rules on Accreditation for Students of the Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences of Okayama University Who Have Made Presentations at International Academic Conferences

Adopted by the Master's Course Academic Affairs Committee on November 30, 2017 Adopted by the Doctoral Course Academic Affairs Committee on December 5, 2017

Article 1: Purpose

This agreement intends to set forth necessary rules when for accreditation by the Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences (hereinafter, "the School") to students of the School for their participation in international academic conferences to give presentations.

Article 2: Course Names, Number of Hours and Other Requirements

Course names, number of hours and other requirements for accreditation are as stated below.

1. Course names and the number of credits that can be awarded are as in the table below.

Name of Course	Credits	Eligible Conferences
Presentation at International Conference 1	1	International academic conferences held outside Japan
Presentation at International Conference 2	1	International academic conferences held in Japan

- 2. One credit for Presentation at International Conference courses will be considered as equivalent to 45 hours of studying, including time required for presentation, preparation work and post-presentation reporting.
- 3. No more than two credits can be counted in the mandatory number of credits for course completion. (It is possible to include two credits from either Presentation at International Conference 1 or 2 only.) There will be, however, no maximum limit on the number of credits one can earn from Presentation at International Conference courses so it is possible to repeatedly earn credits from Presentation at International Conference courses. (When a total of more than two credits is awarded, only two will be considered to be part of the mandatory number of credits for program completion.)
- 4. Presentation at International Conference courses will be considered to be electives if their credits are to be counted as part of the mandatory number of credits for program completion.

Article 3: Eligible International Academic Conferences

International academic conferences eligible for accreditation are as indicated in the *List of Academic Conferences Specified by the President*, which is provided in the *Internal Regulation for Okayama University Research Subsidy Program* for graduate school students. The duration, location and host of the conference will not be considered. International academic conferences that are not specified in the aforementioned list but judged to be appropriate by the School may be considered eligible.

Article 4: Eligible Presentations

For a presentation to be eligible for accreditation, the following criteria must be met. As a rule, presentations should be given in English.

- (1) Both oral and poster presentations may be eligible.
- (2) A presentation is eligible only when the student gave it himself/herself.

Article 5: Grading

If a credit is awarded, the grade for a Presentation at International Conference course will be "Completed".

Article 6: Procedures

Following an application from a student, the procedures defined by the School will be conducted to make decisions on accreditation.

A student who wishes to earn credits must prepare supporting documents that confirm that he/she has given a presentation at an eligible academic conference, attach them to an Application for Accreditation and submit them to the Dean of the School.

Notification of the results of such application will be made by listing them on the academic transcript of the student.

Article 7: Other

Presentations given during international academic conferences that took place on April 1, 2017 or later are candidates for accreditation based on this agreement.

Supplementary Provision

This agreement is effective from April 1, 2017.